

匹見地域協議会（第2回）会議次第

日時 令和元年9月12日（木）15：30～

場所 匹見タウンホール 集会ホール

出席者

（委員）藤谷 一剣・齋藤 惟人・大谷 文男・西川 友史・大久保純子
溝田 洋子・村上 巴・河本 亮・齋藤 光・齋藤 幸士

（益田市）河上副市長

島田匹見総合支所長・藤井地域振興課長・田中地域振興課参事・
齋藤分室長・藤本分室長・産業経済部観光交流課・農林水産課

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告事項

（1）匹見峡温泉やすらぎの湯指定管理者候補者の選定状況について <資料1>

（2）益田市林野事業作業員の在り方及び今後の市行造林地等の管理について
<資料2>

（3）移管防犯灯数について<資料3>

4. 協議事項

（1）匹見豪雪山村開発総合センター耐震化事業について <資料4>

5. その他

次回開催 令和 年 月 日（ ） 時 分～

主催者名	匹見総合支所地域振興課
会議名	令和元年度 第2回 匹見地域協議会
開催日時	令和元年9月12日(木) 15時30分～
開催場所	益田市匹見タウンホール 集会ホール
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 匹見地域協議会委員（9名） ・ 河上副市長 ・ 椋木農林水産課長、柳井匹見林業振興室長 ・ 梅津観光交流課長 ・ 匹見総合支所：島田支所長 <p style="margin-left: 40px;">地域振興課：藤井課長、田中参事、斎藤分室長、藤本分室長、宮野</p>

【会長あいさつ】

本日は報告事項が3件、温泉、造林地管理の在り方、防犯灯、について。
協議事項として、タウンホールの改修、慎重にご審議を願いたい。

【報告事項】

(1) 匹見峡温泉やすらぎの湯指定管理者候補者の選定状況について <資料1 観光交流課長より説明>

- 7月1日から7月24日を公募期間として募集を開始したが、応募者がいなかったため、改めて7月29日から8月21日を公募期間として再度募集したところ1者より応募があり、二次審査まで実施したが、選定条件を満たすことができなかつたため、候補者とはならなかつた。
- 今後のスケジュールとしては、9月下旬より11月中旬を目途に再公募を実施し、指定管理候補者の選定、審査を図り、令和元年度12月議会において、指定管理者の決定を諮りたいと考えてる。

《質疑・意見》

- 最初の応募期間に、現地を見られていたと聞いたが応募に至らなかつた理由はなにか。
 - ▷ 伺ってはいるが、公表は控えさせていただきたい。
- 応募を受け、審査を行ったと報告されたが、決定に至らなかつた理由は何か。
 - ▷ イベント等を企画・運営を行っている一般社団法人であったが、質疑を行う中で、安定的な経営ができるかという審査基準に対して満足のいく回答が得られなかつたため選定することができなかつた。

- 7月に匹見峡温泉について住民意見交換会を行ったが、益田市からは支所より一名しか出席していなかった。住民が行政に対し温泉再開を求めるばかりではなく、益田市と一体となって再開に向け努力している中、この対応はいかがなものか。
 - ▷ 住民の方々がどのように思いを持たれているのか意見を聞き、再開に向けた情報を得ることが目的だった。開催方法や在り方についてのご意見、ご指摘については真摯に受け止め、今後の対応につなげていく。
- 第1回の協議会の中で、温泉の修繕費用は確保されているということであったが、まだ修繕をされていないのは、指定管理者が決まったのちに修繕を始められるからなのか。指定管理者が決まったら、すぐにでも再開できる状況にしてほしい。
 - ▷ 現在、建築課と相談しながら、事業実施に向け準備をしています。
 - ▷ 浴室改修等、大がかりなものはすぐに対応できないが、小規模なものから対応したいと考えている。
- 市にも頑張ってもらっているのは承知しているが、結果が出ていない。温泉を辞めると聞いた時に、自治会長さんの協力を得て、署名活動を行い、ほとんどの町民からの署名を市長へ届けた。このことをもう少し重く受け止めて頂きたい。
- 今後の見通しについて報告できるものはないか。
 - ▷ 第二回目の時に問合せが数件あった。まだ三回目の公募をかけていない状況ではあるが、期待をしているところである。
- 温泉だけ単独で指定管理に出すことは出来ないでしょうか。
 - ▷ 市として匹見峡温泉やすらぎの湯については、温泉・宿泊・食事の三つのセットで考えている。せっかくオープンしても施設の改修のたびに閉めるといった、二度手間三度手間にもなるのは現実的ではないと今の時点では考えている。
- 改修・修繕の必要な箇所は把握できているのか。
 - ▷ 前指定管理者の支配人と施設を見て回った際に確認している。ただ、現在は最低限の箇所について改修の対象にしている。
 - ▷ この匹見峡温泉やすらぎの湯は匹見の拠点地域としての位置付けを委員の皆さんをはじめ地域の皆さんも持っておられることを重点に置きながら市役所全体で議論している。意見交換会のことについても、同様に市長からも対応について支所に対し厳しい意見があった。これらを十分に考えながら匹見峡温泉の再開に向け取り組む。
- 温泉の薪ボイラーは補助事業で導入されているが、温泉が再開されない場合は、補助金の返還等があるか。
 - ▷ 現在は再開に向けた休止であり、そのようなことにはならない。
- レストパークの食堂は温泉と一体化でないといけないのか。
 - ▷ レストパークに宿泊された方が朝食を食べることがあり、同一の経営者の方が良いと考えている。

(2) 益田市林野事業作業員の在り方及び今後の市行造林地の管理について <資料2 農林水産

課長より説明>

○益田市林野事業作業員の雇用形態については、益田市林野作業員就業規則により継続した雇用を行ってきたが、地方公務員法第22条並びに益田市臨時的任用職員取扱規則の規定に基づき、適正な任用をするように国・益田市監査委員より指摘を受けたことにより、次年度以降はこれまで通りの雇用形態を維持、継続することは困難であると判断した。

○今後の市行造林地等における森林経営・管理手法及び新たな組織の立ち上げに伴う市の支援策等について方向性を定めていく。

<匹見林業振興室長>

○現在作業員8名、平均年齢は46.8歳。

○今後の予定。12月までが雇用期間、1月、2月は離職期間、3月の一ヶ月間雇用期間があり令和2年3月末をもって退職という形になる。

現在起業準備している合同会社については、令和2年2月より2名で設立して4名が就業される予定となっている。

○今後の市行造林地等における森林経営管理手法は新たに立ちあげる組織に市行造林地の管理業務等を委託していきたい。

業務内容（案）については、次のとおり。

- ・市行造林地等を巡視し状況を把握すること。
- ・市行造林地等の境界確認が必要な場合、隣接者・必要事項の調査及び現地確認の立会等。
- ・市行造林地等における次年度以降の施業提案及び提案箇所の標準地調査や写真撮影等。
- ・災害発生における市行造林地等の状況把握及び被害の報告。

○組織の立ち上げに伴う、当面の間の市の支援策としては、市有林（旧匹見町有林）、森林研究整備機構の分収造林地及び匹見財産区有林の管理業務の委託。市行造林地等における保育事業・森林作業道開設等を発注について検討している。また、財源については益田市林野事業基金及び益田市匹見財産区基金の活用を検討しているが、広葉樹の市場調査を行い、基金に積み立てができるような取り組みも考えている。さらに、市で所有しているバックホー、チェーンソー等の林業機械を有償、無償貸与又は無償譲渡、並びに事務所として、匹見町落合にある木の駅ひきみ森の宝産直市場事務所の共同利用について、関係者と協議していくこととしている。

○その他の支援策としては匹見地域の林業の活性化及び地域経済の振興に資することを目的として、益田市林野事業基金を原資とした資金貸付条例等の制定を検討している。

<<質疑・意見>>

●今の話では市の委託で経営していくというような話だが、将来的には一般の事業を仕事にて

きるのか。

▷ 事業計画では分収造林事業は益田市のほうが造林者となっており、委託金を頂いて新たな業者に任せたいことと、市の一般会計というところで今登山道の除草作業や林道の除草作業といったことをやっていただきたいと考えている。また、可能であれば冬場の除雪作業等も委託したいと考えている。

●若い方が起業されるので、安定した組織になるように支援して欲しい。

●8名の方がおり、2名が起業、4名がそこへ就業、1名が転職を希望されているとあるが、もう1名については。

▷ 60歳を超えて体力的にも厳しいということなので引退をされる。

●市行造林と財産区での協議は整っているか。

▷ 財産区委員会には報告している。

●民間の林野、山林についても対応してもらえるのか。

▷ 民有林についても実施の意向はあるが、ほかの事業者と調整をしながら今後検討していく。

。

(3) 移管防犯灯数について <資料3 地域振興課長より説明>

○市から自治会への防犯灯の移管ということで昨年度より進めさせている、自治会へ移管する防犯灯の数、照明器具種ごとの数を表にしたものを説明する。

○既設防犯灯数、これは昨年度の実態調査の結果及び中国電力との契約内容の精査の結果を基に出した防犯灯の数である。

○廃止防犯灯数は自治会より廃止可能と報告を受けたものとなっている。

○移管防犯灯数は既設防犯灯数から廃止防犯灯数を引いた数となり、今後、自治会に管理をお願いする防犯灯の数となる。

○この防犯灯数の中には水銀灯も含まれているが。水銀灯は電球が来年度で製造中止になるという関係があり本年度中にLED灯等への更新を検討している。

○設置位置の変更につきましてもご要望をいるため対応する予定としている。この財源については、匹見地域活性化基金の活用を考えています。

<<質疑・意見>>

●水銀灯を辞めてLED灯にすることは可能か。

▷ 移管する物については可能である。

●LED灯に更新した場合、どのくらい安くなりますか。

▷ 電力会社との契約種別によるが、10ワット未満で単純計算すると、年間2千円程度安くなる見込みである。

●灯具を替えるだけでよいでしょうか。

▷ 場所や使用されている器具によって異なる。電球のみが交換できるものから、安定器の設置が必要になるもの、器具ごと取り替えた方が安価になるものと様々ある。極力安価となる方法を考えたい。

●防犯灯の数が減ることにより、町が暗くなる。そのことによりクマやイノシシなどの動物が出没することが懸念される。防犯灯の設置による対策もその一つと思うが、益田市においては防犯灯をどのように考えているのか。また、このような問題について議論が行われたのか。

▷ 市としては防犯灯を軽く見ているわけではない。地域に住み続けるためにも防犯灯の位置付けは重要であると認識している。しかし、合併して15年様々な調整をしてきた。この防犯灯についてもご理解を頂きご協力をお願いしたい。

▷ クマやイノシシ等の動物被害についても、支所をはじめ、益田市が先頭に立って取り組みをしていかなくてはいけないと考えている。対策を講じる方策を皆さんと一緒に進めて参りたい。

●防犯灯の移動や廃止はまだ可能か。

▷ 可能であるが、来年度以降であれば自治会での対応となる。

●防犯灯の移設や廃止などの増減について、自治会とよく連絡を取り進めてほしい。

●去年と今年は異常で、いつクマによる人身被害が出ても不思議ではない状況。防犯灯はこういった話で進めているが、防犯灯を廃止していくのは危険だと思う。クマ対策を徹底的に行って欲しい。

●熊対策は県が主体となって進められていると思うが、市の方から県に対して状況を伝えたりすることはあるのか。

▷ 県が管理計画を策定し、その計画で定めたゾーニング等に基づいて管理を行っている。市も県の管理計画に基づき協力をしている。

【協議事項】

(1) 匹見豪雪山村開発総合センター耐震化事業について<資料4 地域振興課長の説明>

○第1回の地域協議会においてタウンホール全体としてこの施設にどういった施設機能を持たせるのか、あるいは他の公共施設の機能を集約できる可能性があるのかということについて、ご意見を頂いた。この地域協議会ではご意見のとりまとめをお願いしたい。

○全体的なスケジュールは、耐震と庁舎の改修工事は今年度中の発注、タウンホールの改修については来年度4月以降ということで考えている。

○耐震部分と庁舎側の改修の実施設計は既に終わっているが、設計内容について見直すこととしている。

○タウンホール改修の実施設計についても未着手となっているため、十月中旬以降にこの設計業務に着手したいと考えており、今回協議いただく内容を踏まえ、11月中旬頃を目安に一定程度の方向性を固めていきたいと考えている。

○庁舎とタウンホールの改修に併せ、この施設の住民利用の利便性の向上につながる基本的な

構想について、ご意見を賜りたい。

《質疑・意見》

●支所としてこの集会ホールをどのようにしたいのか考えはあるのか。

- ▷ ホール後方にある映写室をこのホールの中に取り込み、楽屋的なスペースあるいは収納が無い場合、ステージの両サイドにそれらを配置しようと考えている。
- ▷ 裏手側にある庭に新たに移動用の通路を増設してはどうかと考えている。
- ▷ 昨年の調査で天井裏にアスベストがあることが判明したため、工事に併せて除去作業を行う。

●直接フロアに座るような時代ではないと思う。椅子式にするような考えはないか。

- ▷ 例えば美都のホールには収納式の座席があるが、現在のホールでは、基礎工事から行うこととなる。限られた改修であるため、これまでと同様に床式のホールで椅子を置くという形となる。ステージが見にくいところもあるため、ステージを若干高くして、さらにはステージ下の収納も新たに設けられないかと検討している。

●椅子式でないと高齢者にとって不便である。何を催しても誰も来なくなるのではないか。

●施設をそのまま中途半端に改修するよりも、建て替えた方が良いのではないだろうか。

- ▷ ステージを利用した催しが常にあれば、傾斜のある座席で見やすいと思うが、これまでの使用状況では懇談や会議等で使用する場合は主体になっており傾斜のある座席では不便ではないかと思う。予算的なこともあり難しいのではないかと考える。ご意見を踏まえて検討していきたいと思う。

●文化的なことが無いと、匹見は文化の無い街になってしまう。文化的なものの催しを皆がホールに来てくれるというようなことを頭に入れて改修してほしい。

- ▷ どのような形でホールを活用するかという考えをまとめながら、もう少し具体的なものをお示ししたい。

●改修は集会ホールだけですか。

- ▷ 施設奥側にある浴場も改修の予定としている。